

# 維持再生小委員会活動報告

維持再生小委員会  
小委員長 亀村 勝美

## 1. 小委員会の目的

都市の地下利用は、限られた国土しかない我が国の社会資本を充実させるためには不可欠であり、「大深度地下の公共的使用に関する特別措置法」が成立した今、新しい価値観に基づいた地下利用の推進が望まれている。

これまでの地下利用は必ずしも満足できるものではなく、今後もこれまでと同じような地下開発を続けることは経済面や環境面からも許されない。地下利用においては「もの造りの技術」よりもライフサイクルを念頭に置いた「もの使いの技術」が求められている。

この「もの使いの技術」は維持再生技術に他ならない。既にある地下施設を長く使い続けるために必要な維持再生技術に関わる知見を調査し、新たな維持再生の方策について検討する。

## 2. 研究内容

### 2.1 テーマ

「地下構造物の維持・再生技術に関する調査研究」

### 2.2 基本方針

要求性能と延命化の観点から、維持再生技術に関わる知見を調査し、新たな維持再生の方策について検討する。

### 2.3 研究体制

活動方針決定後、前述の基本方針に基づき、次に示すWGを設置し、活動を行う。

(1)山岳トンネル WG

(2)シールド洞道 WG

### 2.4 スケジュール

平成 14 年度：研究方針と体制の検討

平成 15 年度：話題提供／研究紹介と各 WG の調査研究

平成 16 年度：前年度の継続と研究成果のまとめ

## 3. 活動経過

### 3.1 小委員会

◇ 平成 16 年 2 月 19 日 平成 15 年度第 6 回小委員会

・話題提供：「トンネル変状調査システム」（三協エンジニアリング/茨田）

「トンネルの変状メカニズムについて」（山田委員、重田前委員）

- ・WG活動方針の検討
- ◇ 4月8日 平成16年度第1回小委員会
  - ・話題提供：「三郷洞道の変状被害と計測管理について」（金子委員）
  - ・各WG活動報告
- ◇ 6月9日 第2回小委員会
  - ・話題提供：「コンクリート構造物劣化総合管理システムの開発」（セントラル技研/呉）
  - ・地下空間シンポジウム論文投稿準備状況報告
- ◇ 8月25日 第3回小委員会
  - ・話題提供：「地下構造物の補修・補生技術」（鉄建建設/千々岩）
  - ・各WG活動報告
- ◇ 10月20日 第4回小委員会
  - ・話題提供：「シールドセグメントの耐久性について」（パシフィックコンサルタンツ/水上）
  - ・活動成果のまとめについて

### 3.2 WG

毎月1回WG会議を開催

- (1) 山岳トンネル：山岳トンネルの変状実績と維持管理に関する事例研究に基づいて要求性能を抽出し、照査方法を検討。
- (2) シールド洞道：シールドトンネルの維持管理の現状と課題を調査し、要求性能に基づいて対応策を検討。

## 4. 委員名簿

役職	委員氏名	勤務先	役職	委員氏名	勤務先
委員長	亀村 勝美	大成建設	委員	高橋 晃	東京電力
幹事長	梨本 裕	前田建設工業	委員	竹林 亜夫	応用地質
委員	安藤 慎一郎	竹中土木	委員	田島 聖一	ロードエンジニアリング
委員	池尻 健	セントラル技研	委員	畠中 千野	大成建設
委員	江崎 哲郎	九州大学	委員	廣瀬 末雄	建設企画コンサルタント
委員	野城 一栄	鉄道総合技術研究所	委員	藤原 康政	清水建設
委員	粕谷 太郎	鉄建建設	委員	水口 尚司	ニューゼック
委員	金子 俊輔	東電設計	委員	高塚 外志夫	通信土木コンサルタント
委員	粥川 幸司	地域地盤環境研究所	委員	森 康雄	熊谷組
委員	高瀬 行廣	横浜市	委員	山田 浩幸	鴻池組
委員	田中 康弘	ダイヤコンサルタント	幹事	岡嶋 正樹	パシフィックコンサルタンツ
委員	城間 博通	日本道路公団	幹事	岡田 正之	ドーコン